



広報のと

第47号

平成21年1月1日発行

能登

広報のと
No. 47
2009.1

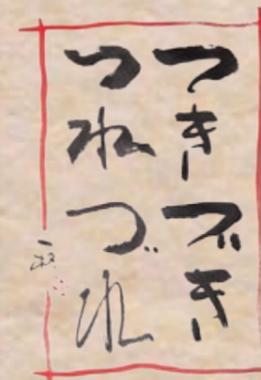
アエノコトが
伝えるもの

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字1-9-7番地1

☎：0768-62-10000
能登町URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

1

平成21年



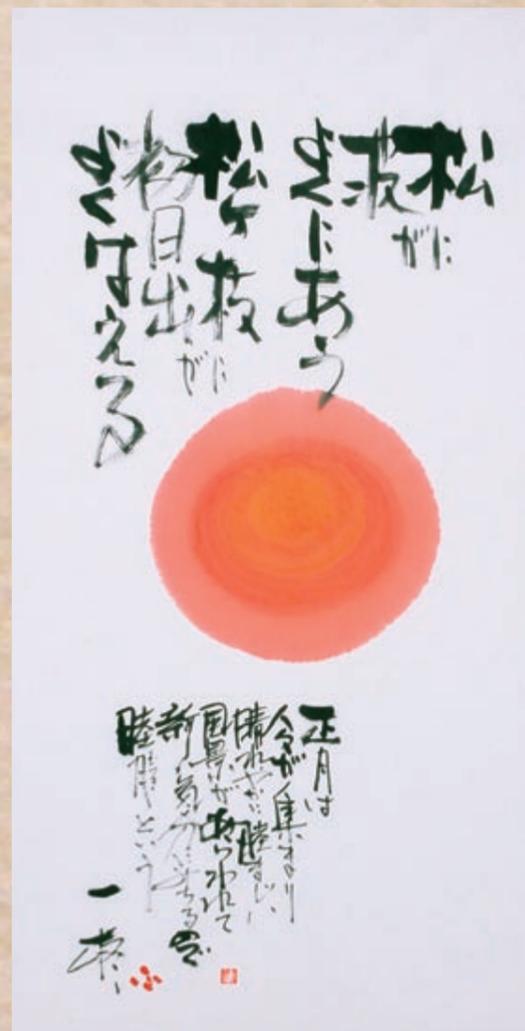
睦月むつき

能登に恋した

抒情書家

むろやいしゅう しゅきん
室谷一柁・朱琴・文音

が描く能登の12カ月



松に
波が
よくにあう
松ヶ枝に
初日出が
よくはえる

正月は

人々が集まり

晴れやかに睦ましい

風景があらわれて

新しい気分にあちるので

睦月という

「春」「夏」「秋」「冬」そして「新年」と全五巻の『日本大歳時記』を、これまで何度繙いたことでしょうか。まさに座右の書です。ですが、生活に縁のないところは見過ごしてききました。今、新年号80頁に目がくぎ付けです。

「船起みねおこし・石川・宇出津（カラー写真入り）」

正月、船霊をまつる行事。船の持主が、早朝船に松飾りを付け、船霊に神酒、洗米、鏡もちなどを供え、船を沖に乗り出して漁のまねをする。帰ってくる初漁の分け前として、切りもち、ミカン、また木で作った魚形を子どもに与え、船主の家または浜辺で船子たちと酒盛りをして、一年の豊漁と航海の安全を祈る。」

とあります。この地では、起舟おこぶねと呼び慣わしているのですね。この響きの方がここにはふさわしい。
少しずつ、能登人のとびとになつてきたあの気分の高揚を感じます。

室谷一柁・朱琴・文音



平成18年、京都府美山町から能登町大箱に移住し、アトリエを構えた抒情書家。生活の中で探して言葉を持ち帰る。年数回の展示会を開催する。娘の文音（写真中）は、イギリスと能登を往復し、内浦長尾に「桃花林」というアトリエを構える。

奥能登

に

抒情書家

あり

アトリエ

を

五友宿

という